



Green Frontier
環境モデル都市 北九州市

©teitan, City of Kitakyushu

平成24年1月13日
環境局環境未来都市推進室（582-2239）
環境都市調整担当課長：塚本 自然共生係長：山口

「響灘ビオトープ ネイチャーセンター」の整備について

【概要】

響灘ビオトープは、北九州市生物多様性戦略の主要施策である「響灘・鳥がさえずる緑の回廊」に関する取組みの一つであり、エコタウン、次世代エネルギーパークと合わせた響灘地区環境学習資源の一つとして「自然の回復力」に視点を当てた日本最大級のビオトープです。その主要施設であるネイチャーセンターの整備に着手します。

1 ネイチャーセンターの概要

【目的】

- ① 自然環境の保全に取り組む市民・NPO等（自然環境保全ネットワークの会）の活動拠点
- ② 外来種などの持込禁止など園内の生態系保全のための管理施設
- ③ 園内の希少生物の写真（約150点保有）の展示や、水生生物の水槽展示などを行う自然環境学習施設

※ 園内確認生物数：鳥類237種、昆虫24種、植物284種

【構造】 鉄筋コンクリート1階建

【面積】 延床面積 約600㎡（展示室 約270㎡、講義室50名、トイレ等）

※ 環境修学旅行や環境エコツアーにも対応

【事業費】 約1億4千万円

2 ネイチャーセンターの特徴

- ・ 鳥や風が運ぶ種子の発芽による自然な屋上緑化によりビオトープに同化
- ・ つる性植物による壁面の緑化
- ・ 自然の光や風を取り入れるトップライト
- ・ 夏季には緑のカーテンによる室温低減

3 スケジュール

- ・ H24年2月 ネイチャーセンター着工予定
- ・ H24年秋 ビオトープ本格オープン



